



※下書き用紙に表示している内容は2023年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2023年度
スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与同時申込み）用】

独立行政法人
日本学生支援機構
JASPSO Japan Student Services Organization

給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類によって回答の必要設問が異なります。給付奨学金のみを申し込む場合は、青色背景の設問のみに答えてください。

受付番号
[スカラネット入力] [手元に用意する] [申請番号(ユーザーIDとパスワード)を入力欄] [16]ページに印刷して取り出す

ユーザID [] パスワード []

大学 []
申込み要領 []
(1) 定期採用 (1次又は2次) 給付奨学金・貸与奨学金
(2) 家計急変採用 (給付奨学金のみ)

高等専門学校の場合の表示例
申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。
(1) 定期採用 (1次又は2次) 給付奨学金・貸与奨学金
(2) 家計急変採用 (給付奨学金のみ)

大学(通商課程)の場合の表示例
申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。
(1) 定期採用 (夏季スクーリング又は冬季スクーリング)
(2) 家計急変採用 (給付奨学金のみ)

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。
(1) 定期採用 (夏季スクーリング又は冬季スクーリング)
(2) 家計急変採用 (給付奨学金のみ)

給付奨学金金制度

申込手順

スカラネット

入力下書き用紙

採用後の手続き

2023年度秋期新規募集

スカラネット入力下書き用紙

書き方マニュアル



スカラネット入力下書き用紙の流れ

①

このマニュアルを見ながら、スカラネット入力下書き用紙の必要項目をすべて記入する

スカラネット入力下書き用紙



書き方マニュアル



②

記入済のスカラネット入力下書きを**全ページ**各自でコピーする



記入済のスカラネット入力下書き用紙



③

その他申請に必要な書類と共に期限までに提出する



※申請に必要なのはスカラネット入力下書き用紙だけではありません

※ご自身が該当するどちらかの申請書類一式を提出してください

④

提出書類一式を確認後（数日かかる場合もあります）スカラネットWeb入力に必要なIDとパスワード等をお渡ししますので、期限までに**Web入力**と**マイナンバー提出書セット**を郵送してください

スカラネットWeb入力



スカラネット入力下書き用紙 注意事項①

申込を希望する奨学金のマークが書かれている欄のみ記入してください。

給付

第一種

第二種

※申込の必要がない欄は記入しないでください

※各ご家庭の個人情報（家族人数や勤務先等）や、ご希望の奨学金の種類は、
大学では間違っているか判断できませんので、
正しい内容で記入できているかどうか、各自で必ずチェックしてください



スカラネット入力下書き用紙 注意事項②

入力内容に誤りがあると『採用のはずが不採用』『採用なのに奨学金が振り込まれない』『本採用時に修正が必要』などの、不利益を被ることとなってしまいます

①入力後の修正は簡単ではありません！

(訂正届の提出・訂正印・該当者(保証人等)の署名 など)

②毎月の振込金額は早くても2024年5月振込以降にしか変更できません！

③入力後では変更できない内容もあります！

(保証制度 など)

入力前であれば簡単に変更できますので、振込口座や氏名・住所・電話番号等記入・入力間違いがないように、十分に気を付けて入力ください



1 ページ目

給付 第一種 第二種

① 氏名等を記入してください
※学籍番号の前に「S」をつけないでください

給付 第一種 第二種

② 「大学」と記入してください

※下書き用紙に表示している内容は2023年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2023年度
スカラネット入力下書き用紙
【給付奨学金（貸与同時申込み）用】



給付奨学金と貸与奨学金の両方、又は給付奨学金のみを申し込みの際の「スカラネット入力下書き用紙」です。この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類によって回答の必要な設問が異なります。給付奨学金のみを申し込み人は、青色背景の設問のみに答えてください。給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込み人は、青色背景と灰色背景の両方の設問に答えてください。

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>
受付時間 8:00~25:00 (最終締切日は8:00~24:00)
※受付時間を過ぎると画面が強制的に終了します。余裕をもって入力を開始してください。
入力所要時間の目安は30分~1時間です。

①

氏名	学籍番号	学部・学科・分野
	※学籍番号の前に「S」をつけない	
受付番号		

入力の際に必要な項目です。学校の担当者に必ず正しい名称を確認してください。

A 「送信」ボタンを押し番号が画面に表示される

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】
・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
・マイナンバー提出書
・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子16ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】

識別番号入力
あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。
(注) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID パスワード

B スカラネット入力時は表示になります。入力する場合は、入力した文種確認ができるよう、最初に入力し、それをコピーしてみてください。

奨学金学種（学校）・申込の選択
あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

② 大学 高等専門学校 大学（通信課程）

大学の場合の表示例

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金
● 現在在学している大学での奨学金を申込みすることができます。

(2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）
○ 生計維持者に特定の事由が生じたことの家計急変、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込みすることができます。
学校で申込資格を確認してください。

注意！ 「定期採用」を選んでいることを再度確認してください。誤って他の選択肢を選ぶと、選挙の対象にならず、申込をやり直す必要が生じます。

高等専門学校の表示例

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用（1次又は2次）給付奨学金・貸与奨学金
● 現在在学している高等専門学校での奨学金を申込みすることができます。

(2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）
○ 生計維持者に特定の事由が生じたことの家計急変、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込みすることができます。
学校で申込資格を確認してください。

注意！ 「定期採用」を選んでいることを再度確認してください。誤って他の選択肢を選ぶと、選挙の対象にならず、申込をやり直す必要が生じます。

大学（通信課程）の場合の表示例

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用（夏季スクーリング又は冬季スクーリング）
● 現在在学している大学での奨学金を申込みすることができます。

(2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）
○ 生計維持者に特定の事由が生じたことの家計急変、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前に支援を要する場合のみ申し込みすることができます。
学校で申込資格を確認してください。

注意！ 「定期採用」を選んでいることを再度確認してください。誤って他の選択肢を選ぶと、選挙の対象にならず、申込をやり直す必要が生じます。

【給付奨学金(貸与同時申込み)用]と、記載されていますが、貸与のみの方も含め**全員**この用紙を使用してください

給付 第一種 第二種

A 今は記入しないでください
※Web入力後、ご自身で記入しておいてください

給付 第一種 第二種

B 今は記入しないでください
必要書類をすべて提出し、不備がない場合お伝えします

給付奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

3ページ目-1

給付 第一種 第二種

A 今は記入しないでください
Web入力時に「入力日」を
記入してください

給付

I 内容をよく確認し、
チェックしてください

給付 + 第一種

重要!

II 給付奨学金と一種奨学金を
両方受けようと思っている人は
内容をよく確認したうえで
チェックしてください

①-あなたの氏名・誓約情報

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「確認書兼同意書」及び「給付奨学金確認書」
したが、奨学生に採用決定後は速やかに貸与奨学金は「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後、
または給付に返還の義務が生じた場合には滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正
しく記入することを誓約します。

誓約日 **A** ()年 ()月 ()日
(半角数字)

姓 名
漢字氏名 [] []
5文字以内 5文字以内
カナ氏名 [] []
15文字以内 15文字以内

① 生年月日 []年 []月 []日生

生年月日の入力を誤ると、正しく成年判定を行
うことができませんので注意してください。

国籍 **②** 日本国籍 日本国籍以外

国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。
※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。
※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間（満了日）の入力は不要です。

在留資格 []
在留期間（満了日）西暦(4桁) []年 []月 []日

在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。 はい いいえ
※誓約日は以後訂正することができません。

◆給付奨学金支援区分の情報提供の確認◆

あなたが給付奨学金を申込み場合は、あなたの給付奨学金における審査結果（支給額の割合に関する情
報を含む。）について、機構のシステム等を通じて在籍する学校に必要なに応じて提供します。

◆給付奨学金の貸与月額の確認◆

あなたが第一種奨学金（要返還。無利子）と給付奨学金又は授業料等減免の支援を併用で受ける場合は、
の規定に基づき、給付奨学金の支給月額及び授業料の減免額に応じて、第一種奨学金の貸与月額
（減額または増額）される場合があります。調整の結果、借入金額が増額となる場合は、別途届
要になります。また、調整後の貸与月額につき選択が可能な場合は、機構の定めるところにした
整前の貸与月額と同額以下の貸与月額に調整されます。

I 同意します

II 同意します

給付 第一種 第二種

① 氏名（フリガナ）・生年月日を
記入してください

ページ「文字入力」参照。
外字は使用しないでください。
(例) 吉→吉、廣→廣、祐→祐
漢字氏名には「を」「ヲ」とも入力
できませんが、カナ氏名に「ヲ」は入
力できません。カナ氏名には代わり

給付 第一種 第二種

② どちらかにチェックして
ください

「日本国籍以外」に当てはまる
場合は、点線枠内も記入して
ください
また、記載があるように、
「在留資格の証明書類」を申請
書類一式と共に、必ず提出して
ください

例：在留カードのコピー・特別永住者証明書のコピーなど

奨学金（無利子）、第二種奨学金（有
利子）の新規申込みを希望します

3ページ目-2

大学・短期大学・高等専門学校・専修学校専門課程の場合

給付 第一種 第二種

① 給付奨学金の申込を「希望します」「希望しません」のどちらかにチェックしてください

給付 第一種 第二種

② 貸与奨学金の申込を「希望します」「希望しません」のどちらかにチェックしてください

希望する場合は点線枠の中のいずれか1つだけ、必ずチェックしてください

1. 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。

- ① 希望します
希望しません

※給付奨学金の対象者は、進学先の大学等において別途手続きをすることで授業料や入学金の減免を受けられます。
参考：支給月額一覧 (PDF)

2. 貸与奨学金(月額：第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子))の新規申込みを希望しますか(現在、貸与奨学金を受けている場合、(c)の(8)～(14)を選択する方以外は「希望しません」を選択してください。)

- ② 希望します
希望しません

あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

(a). 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。

- (1) 第一種奨学金のみ希望します。
 (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
 (3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b). 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

- (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。
 (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望します。
 (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。
 (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c). 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。

- (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。
 (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。
 (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。
 (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。

※(12) は欠番です。

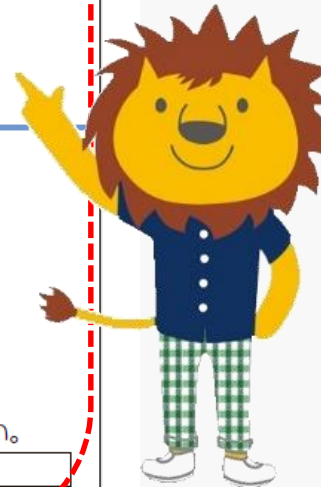
上記(8)、(9)、(10)、(11)、(13)、(14)を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号

(半角数字) (例: 822 04 999999)

必ず、配布資料でシミュレーションをしてから、番号を選んでください

※家計基準・学力基準も必ず併せてご確認ください



4ページ目

給付 第一種 第二種

① 必要事項をすべて記入してください

※学籍番号の前に「S」をつけないでください

給付奨学金制度

スカラネット入力書き用紙

採用後の手続き

通信課程の場合

1. 給付奨学金の新規申込みを希望しますか。
 希望します
 希望しません
※給付奨学金の対象者は、進学先の大学等において別途手続きをすることで授業料や入学金の減免を受けることができます。参考：支給月額一覧 (PDF)

2. 賞与奨学金 (月額：第一種奨学金 (無利子)、第二種奨学金 (有利子)) の新規申込みを希望しますか。
 希望します
 希望しません

3. あなたの希望は賞与と奨学金を1つ選択してください。
 (1) 第一種奨学金のみ希望します。
 (2) 第二種奨学金のみ希望します。
 (3) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用賞与を希望します。

④ あなたの在学情報 大学の場合

1. 学校 **大阪産業大学**

(1) あなたの学校名を確認してください。 (1) ×× 大学

(2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号) _____

(3) あなたの在学している学部 (科) 名を選択してください。 (3) _____

(注) 短期大学・専修学校在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。

(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) はい 専攻科 別科

(5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字) _____ 学年

(6) 昼夜課程を選択してください。
 (日) 昼 (昼夜間講義含む) 夜 通年スクーリング 昼間スクーリング

(7) 現在通っている学校への入学について、次の①~③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。

○①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)
 → 入学した年月: 西暦 (半角数字 4桁) _____ 年 _____ 月

○②現在通っている学校の2年次以上の学年 (課程) に、他の学校から編入学又は転学した。(以下の3つの年月を全て記入してください)
 → 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦 (半角数字 4桁) _____ 年 _____ 月
 → 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦 (半角数字 4桁) _____ 年 _____ 月
 → 現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦 (半角数字 4桁) _____ 年 _____ 月

○③現在通っている学校の2年次以上の学年 (課程) に、他の学校から編入学又は転学した (編入学又は転学の前に在学していた学校 (大学、短大、高専、専門学校) が2つ以上ある)。(以下5つの年月を全て記入してください)

【1回目の編入学】
 → 2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦 (半角数字 4桁) _____ 年 _____ 月
 → 2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦 (半角数字 4桁) _____ 年 _____ 月
 → 2回目の学校へ編入学又は転学した年月: 西暦 (半角数字 4桁) _____ 年 _____ 月

【2回目の編入学】
 → 現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦 (半角数字 4桁) _____ 年 _____ 月
 → 現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦 (半角数字 4桁) _____ 年 _____ 月

短期大学及び高等専門学校へ入学した場合は、以下の2通りの段階が適用になります。この段階においてあなたが在籍している専攻科が、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の認定を受けている場合は、「認定専攻科の一覧表」を参照し、「はい」又は「いいえ」を選択してください。「いいえ」を選択した場合、給付奨学金の支給対象外です。

(4) あなたは正規の課程を修了後に専攻科に在学していますか。 はい いいえ
上記で「はい」と答えた人にお読みください。あなたが在籍する専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に認められた認定専攻科ですか。 はい いいえ
認定専攻科の一覧表 (独立行政法人大学改革支援・学位授与機構のページ) を参照してください。

高等専門学校の場合は、以下のとおり段階が変更になります。

(6) あなたの入学年月を記入してください。
 西暦 (半角数字 4桁) _____ 年 _____ 月 入学

(7) 現在通っている学校の4年次へ進級した年月を記入してください。
 西暦 (半角数字 4桁) _____ 年 _____ 月

短期大学の場合は「(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか」と表示されます。

あなたが在籍している通信課程により奨学金の貸与を受けられない場合があります。詳しくは学校に確認してください。

「2. 賞与奨学金 (月額：第一種奨学金 (無利子)、第二種奨学金 (有利子)) を希望しますか。」で「希望します」を選択すると表示されます。「賞与奨学金案内」をよく確認し、希望するものを選択してください。

(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。学籍番号にそれ以外の文字が使われている場合、学校の指示にしたがってください。

(4) 専修学校は、「あなたは上級学科に在学していますか。」という設問が表示されます。学校からの指示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。

(5) 次のページに掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照し、卒業年(に)合わせた実質学年を入力してください。編入学の場合は編入した学年を入力してください。
 (例) ○2年次休学のため3年次へ進級できなかった場合→2学年
 ○3年次編入→3学年

(6) 通学課程の学生は「昼 (昼夜間講義含む)」又は「夜」を選択してください (高等専門学校の場合、この設問が表示されません)。

(7) ①~③から該当する1つを選択してください。
 編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月等も入力が必要です。
 (例) 2021年4月にA短期大学に入学。2023年3月にA短期大学卒業後、2023年4月にB大学の3年次に編入学。
 ・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 2021年4月(A短期大学の入学年月)
 ・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 2023年3月(A短期大学の卒業年月)
 ・現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 2023年4月(B大学へ編入学した年月)

(7) は当てはまる番号だけ記入してください

【編入学ではない方】
 例：高校を卒業して大学に入学した
 →①のみ記入

【編入学の方】
 →②のみ記入

【2校以上編入学している方】
 →③のみ記入

5ページ目

給付 第一種 第二種

① 当てはまる年月を記入してください

- 【1回生】 → 2027年3月
- 【2回生】 → 2026年3月
- 【3回生】 → 2025年3月
- 【4回生】 → 2024年3月

給付 第一種 第二種

② 「4年0か月」と記入してください

※何回生であっても「4年0か月」です

⑧ あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。
(8) 西暦 (半角数字4桁) 年 月 卒業予定

⑨ あなたの正規の修業年限を記入してください。
(9) (半角数字) 年 か月

<入学・卒業予定年月早見表>

2023年4月現在 1年生			2023年4月現在 2年生		
修業年限	入学年月	卒業予定年月	修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年		2025/3	2年		2024/3
3年		2026/3	3年		2025/3
4年	2023/4	2027/3	4年	2022/4	2026/3
5年		2028/3	5年		2027/3
6年		2029/3	6年		2028/3

2023年4月現在 3年生			2023年4月現在 4年生		
修業年限	入学年月	卒業予定年月	修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年		2024/3	4年		2024/3
4年	2021/4	2025/3	5年	2020/4	2025/3
5年		2026/3	6年		2026/3
6年		2027/3			

※長期履修学生について
長期履修学生（「給付奨学金案内」5ページ参照）については、原則として奨学金を受けることのできる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年限は通常課程の標準修業年限を入力するうえ、学校担当者へ申し出てください。
(2023年4月入学者の例)
通常課程の標準修業年限は2年・卒業予定年月は2025年3月
3年かけて履修し2026年3月が卒業予定年月となる長期履修学生
⇒卒業予定年月は2026年3月・修業年限は2年0か月と入力してください。
なお、第二種奨学金の場合は、採用後に所定の手続きを行うことによって学則に定める「長期履修課程の修業年限の終期まで」貸与を延長することができます。詳しくは、学校に相談してください。

⑩ あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。
※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

郵便番号 (半角数字) - 住所検索

住所 1 (自動入力) 大阪府大東市中垣内3丁目

住所 2 (番地以降) (全角文字) 1-1

⑪ あなたの通学形態を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとから通学し、本人居住にかかる費用(家賃)を負担していない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。
※社会的養護を必要とする人を営む独立生計者が居住にかかる費用(家賃)を支払いがら通学している場合は、学校までの通学距離・時間等に問わず「自宅外通学」を選択し、下記務めで⑫及び⑬「支障が生じる」を選択のうえ、支障が生じる理由の入力欄に「独立生計者である」旨を入力してください。
※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合でも、自宅通学の月額からの振込み開始となります(給付奨学金に併せて第一種奨学金を希望する場合、第一種奨学金も自宅月額からの振込みとなります)。自宅外月額の振込みは、生計維持者(原則父母)と別居し、かつ学生等本人の居住に係る家賃が発生していること(証明書類(アパートの賃貸借契約書のコピー等)を学校へ提出し、不備なく審査終了してからとなります)。
自宅通学(またはこれに準ずる) 自宅外通学

上記で「自宅外通学」を選択した人にお聞きします。
「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するものを全てを選択してください。
いずれにも該当しない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択し直してください。

①実家(生計維持者いずれもの住所)から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上
②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
③実家から大学等までの通学費が月1万円以上
④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下
⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

上記で⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますが、
支障が生じる 支障が生じない

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。

郵便番号 (半角数字) - 住所検索

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

⑫ 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、「住所」欄に郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動入力され、2023年4月時点(秋)で申し込み済みの住所を選択し、自動表示されない場合は郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。
「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。
※9ページの「住所の入力例」参照

⑬ 2023年4月時点(二次採用(秋))で申し込み済みの住所が2023年10月時点での状況に基づき選択してください。
申し込み済みの住所が自宅外月額を選択し、詳細提出が必要ですが(社会的養護をも同様です)、「自宅外通学」を選択した場合でも、当初は自宅外月額が振込まれ、自宅外月額の自宅外通学」である証明書類を提出し、不備なく審査終了した後にのみ、振込戻月「自宅外通学」が認められた月からの振込がまとめて振り込まれます。ただし、定められた期までに不備のない書類提出がなく、遅れて審査終了となった場合は、届出月から自宅外月額に変更します。

⑭ 「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択した場合は、入力不要です(ボタンを押すことができません)。
「自宅外通学」を選択した場合は入力が必要となります。2023年4月時点(二次採用(秋))で申し込み済みの住所を入力してください。郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動入力され、2023年4月時点(秋)の住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。
※9ページの「住所の入力例」参照

給付奨学金

給付 第一種 第二種

③ 大学の住所を記入してください
「574-0013
大阪府大東市中垣内3丁目
1-1」
※誤って自宅の住所を入力した場合、
自宅外とみなされなくなりますので注意してください

給付 第一種 第二種

④ 「自宅通学」「自宅外通学」の
どちらかにチェックしてください
※申告されたとおりに選考が進むため、「自宅外通学」であるにもかかわらず、「自宅通学」に
チェックされた場合、自宅外の金額を受ける
ことができなくなりますのでご注意ください。

「自宅外通学」にチェックをした人は
下の点線枠内も必ず記入してください

6ページ目

給付奨学金制度

スカラネット

後の手続き

給付

① 通常は「いいえ」にチェックしてください

※説明文をよみ、もしも「はい」に当てはまる場合は下の点線枠にチェックしてください
「はい」を選んだ場合給付奨学金は振り込まれません

給付

② 通常は「支援を受けておらず受ける予定もない」にチェックしてください

※説明文を読み、もしも支援を受けている場合は当てはまる欄にチェックをし、記入してください
支援を受けている場合は給付奨学金は振り込まれません

ここから選んでください

④-奨学金給付額情報

1. 給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください
(1) 給付奨学金が採用となった場合、4月振込分から

① はい いいえ

「はい」と答えた人は、停止理由を選択してください。
 2023年4月1日時点で休学中であるため（2023年4月2日以降に休学が始まる場合は該当しません。申込後、別途手続きが必要です）。
 他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められないため
 その他

(2) あなたは、2023年4月以降、以下の支援を受ける予定がありますか（ハローワークや役所からあなた本人が受けている給付金があれば、次に該当するものがないか、必ず確認してください）。

※2023年4月以降、以下の国費による支援を受けている期間は、日本学生支援機構の給付奨学金の額は0円となります。

- ・教育訓練支援給付金【雇用保険法】
- ・訓練延長給付、技能習得手当（受講手当、通所手当）、寄附手当【雇用保険法】
- ・職業訓練受給給付金【職業訓練の実施等による特定求職者の就職の支援に関する法律】
- ・高等職業訓練促進給付金（ひとり親家庭の税を対象とする給付金）【母子及び父子並びに寡婦福祉法】
- ・職業転換給付金<訓練手当>【労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律】

支援を受けておらず受ける予定もない
 支援を受けている
 支給予定期間（西暦）（半角数字4桁） 年 月 月 ~ 年 月 月
 支援を受ける予定である
 支給予定期間（西暦）（半角数字4桁） 年 月 月 ~ 年 月 月

国費の一覧表（文部科学省ホームページヘルシク）（PDF）
※申告漏れの場合、給付奨学金の全額返金を求めることがあります。

⑤-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。
(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

①

【2018年度以降入学者（2018年4月以降の入学期月を入力した人）の貸与月額】

区分	大学				短期大学・専修学校（専門課程）				高等専門学校（4・5年生、専攻科）			
	国・公立		私立		国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
最高月額以外の月額	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円

最高月額を利用するためには、併用貸与の家計基準を満たしている必要があります。それぞれの月額を利用できる収入、所得金額の目安は、「貸与奨学金案内」を参照してください。

⇒ 最高月額を選択する場合は、以下の質問に答えてください。
貸与月額〇〇円は、条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。条件を満たさなかった場合は、希望する月額を選択してください。

①

春の定期採用で採用されると、第一種奨学金の貸与始期は2023年4月となります（入学年度によりません）。

自宅外通学の場合でも、自宅月額を選択することができます（入学年度によりません）。

最高月額が認められなかった場合に希望する月額を上記の最高月額以外の月額から選択してください。

注意！ 支給を受けたい時は、「いいえ」を選択してください。「はい」を選択すると、採用されても振込みされません。

以下のような場合に「はい」を選択してください。
 ・海外留学支援制度の利用に伴い、支給を停止する必要がある
 ・他団体の奨学金の利用に伴い、日本学生支援機構の奨学金の利用に制限があるため、支給を停止する必要がある
 ※届出による停止解除により、支給を再開することができます。

国費による支援を受けている、又は受ける予定である場合は、ここではなく(2)で該当する内容を選択してください。

申込者本人（あなた）が受けているかどうかについて選択してください。
生計維持者（両親等）が受けている場合は該当しません。

給付奨学金のみ希望する人は、入力する必要はありません。

入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。
また、専修学校（専門課程）のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する専修学校は「国・公立」の月額が適用されます。
プルダウンリストから希望する月額を選択してください。

第一種

① 希望する貸与月額を記入してください

※給付を受けている・受けようと思っている方は、どの金額を選んでも実際に振り込まれる金額は基本的に0円です（併給調整）

最高月額を選んだ場合

①で最高月額を選んだ人は、最高月額が不採用だった場合に希望する金額を記入してください

7ページ目-1

第一種



① 「所得連動返還方式」または「定額返還方式」のどちらかにチェックしてください

※詳しくは貸与奨学金案内冊子P18・19を確認してください

第一種

② 通常「いいえ」にチェックしてください

過去に第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」にチェックをし、奨学生番号を記入、「同意します」にチェックしてください

2017年度以前入学者は、最高月額を選択の制限はありません。

→ 【2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与月額】

大学				短期大学・専修学校（専門課程）				高等専門学校（4・5年生、専攻科）			
国・公立		私立		国・公立		私立		国・公立		私立	
自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
3万円				3万円				3万円			

入学年度（入力）

選択でき

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。
(注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

① (2) 所得連動返還方式 定額返還方式

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。 (3) はい いいえ
「はい」と答えた人はこれまでに今回申込と同一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。

奨学生番号（半角数字）

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってください。
(注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。 同意します。

(4) あなたは「地方創生枠推薦者」ですか。 はい いいえ
「はい」と答えた人は、推薦者決定に際して、奨学金申込時に入力するよう指示された番号を入力してください。

③ (4) はい いいえ

③ 通常は「いいえ」にチェックしてください

※説明文をよみ、もしも「地方創生枠推薦者」に当てはまる場合は「はい」にチェックをし、基金設置団から指示されている番号を記入してください

第一種奨学金を希望する人は、返還方式を選択できます。「貸与奨学金案内」を確認のうえ、のうえ、どちらかを選択してください。

過去に同じ学種で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。

第一種奨学金の再貸与制度とは？
 過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学種（大学、短期大学、高等専門学校、専修学校）で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。詳しくはを参照してください。

第一種

7ページ目-2

第二種

① 2万円～12万円の間の1万円単位で希望する貸与月額を記入してください

第二種

② 「いいえ」にチェックしてください

第一種 + 第二種

A 第一種と第二種と両方申し込みを希望する人は、内容をよく読み「はい」にチェックしてください

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

2万円 3万円 4万円 5万円 6万円 7万円
8万円 9万円 10万円 11万円 12万円

①

(1)

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。

②

(2) はい いいえ

「はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人の...を希望することができます。

あなたは(医・歯は4万円、薬・獣医は2万円増)を希望しますか。

4万円 2万円 希望しない

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

A

はい いいえ

(3) あなたは何月分から貸与を希望しますか。

(注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

③

(3) 西暦(半角数字4桁) 2023年 10月

入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1) はい いいえ

「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

10万円 20万円 30万円 40万円 50万円

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

④

(1) 利率固定方式 利率見直し方式

基金設置団体から「地方創生枠」としての推薦を受けていない人は、「いいえ」を選択して次に進んでください。

プルダウンリストから希望する月額を選択してください。

(2)は医・歯・薬・獣医学の増額に関する入力項目です。

併用貸与を希望した人に表示されます。

併用貸与については、「貸与奨学金案内」を参照してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金で最高月額を選択した人に表示されます。

第二種

人は、貸与月額が適切「はい」を選択してください。

③ 通常「2023年10月」と記入してください

※もしも、2023年10月以外を希望する場合は、下の余白に理由を明確に記入してください。

2023年10月以外を希望する場合の理由

第二種

入学時特別増額貸与奨学金は、入学した学校において1回しか受けられません。そのため、すでに入学時に入学時特別増額貸与を受けたことがある場合は、...
...に入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択し

④ 「利率固定方式」または「利率見直し方式」のどちらかにチェックしてください

※詳しくは貸与奨学金案内冊子P16・17を確認してください



8ページ目

給付 第一種 第二種

① 大学に入学する前の最終学歴を記入してください

例：今年高校を卒業して入学した
→ 「2023年3月高校」と記入

給付 第一種 第二種

② 国内の高校を卒業した場合は「はい」にチェックし、「②はい」の点線枠内に卒業した年月を記入してください

国内以外は「いいえ」にチェックし、「②いいえ」の点線枠内をよく確認し、記入してください

ポイント



申込手順等

スカラネット入力用書き用紙

STEP4

⑥-あなたの履歴情報

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦 (半角数字 4桁) 年 月 卒業または退学

2. あなたは国内の高等学校(本科)を卒業しましたか。
※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校(第1学年から第3学年まで)又は課程(修業年限が3年以上のもの)を含みます(インターナショナルスクールの施設等は含みません)。
※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで;

「はい」と答えた場合は「はい」にチェックし、
あなたがはじめに卒業した年の西暦(半角数字 4桁) 年 月

「いいえ」と答えた場合は「いいえ」にチェックし、
あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。
高等学校卒業程度認定試験合格者
その他(インターナショナルスクール、在外教育施設等)

「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお聞きします。
あなたは高等学校卒業程度認定試験について合格しましたか。
西暦(半角数字 4桁) 年 月

あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度(16歳になる年度)から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過してはいますが、5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していましたか。
はい いいえ

「その他」と答えた人にお聞きします。
あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名(正式名称)とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。
西暦(半角数字 4桁) 年 月

3. 「給付」あなたはこれまでに、日本学生支援機構の「給付奨学金」(原則、返還不要)を受けていますか。(現在支給が終了しているものを含む) はい いいえ

「貸与」あなたはこれまでに、「②-奨学金申込情報」で入力した他に日本学生支援機構の「貸与奨学金」(第一種、第二種)(原則、要返還)を受けていますか(現在貸与が終了しているものを除く)。
はい いいえ

上のいずれかの設問で「はい」を選択した人はその奨学生番号を記入してください。
※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合、貸与額が調整されます。
※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。
※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

奨学生番号	1	2	3	4	5	
半角数字	例	612	04	999999	削除	追加
奨学生番号	1	619	08	999999	削除	追加
奨学生番号	2	810	01	999999	削除	追加
奨学生番号	3	815	02	999999	削除	追加
奨学生番号	4				削除	追加
奨学生番号	5				削除	追加

※第二種奨学金の貸与について確認してください。
あなたは、これまでに同一の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。日本学生支援機構の規程により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。
確認しました

・③ページの②-奨学金申込情報に入力した番号は入力しないでください。
・採用取消となった奨学生番号は入力しないでください。
・高校在学中に、都道府県等(日本学生支援機構及び日本育英会以外)から奨学金の貸与を受けていた場合、入力の必要はありません(高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成17年入学者より、日本学生支援機構から各都道府県に移管されました)。

2回した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、下記のような場合が該当します。

- ・16歳になる年度：2013年度
- ・16歳になる年度から5年経過⇒2018年4月1日以降
- ・2018年度、2019年度に高等学校卒業程度認定試験受験(不合格)
- ・2020年度に高等学校卒業程度認定試験受験(合格)

上記の例では、2018年度又は2019年度に受験していない場合、「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」に該当しないため、申し込むことができません。

直前に卒業又は退学した学校の年月及び学校を選択してください。

高等学校卒業後専修学校高等課程などに進学・卒業した場合〔あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月〕は専修学校高等課程ではなく高等学校の卒業年月を入力してください。

高等専門学校を卒業した場合は、第3学年終了年月を入力してください(高等課程2年間を含む)1年を入力してください。
(例) 高等専門学校(高等課程)を2023年3月に卒業⇒高等学校を卒業した年月は2021年3月

卒業・修了年月または合格年月入力欄の下に、「大学への入学時期等に該当する条件」の説明が表示されます。説明を読み、あなたが要件に該当することを確認したら「確認しました」にチェックを入れてください。

卒業・修了年月または合格年月入力欄の下に、「大学への入学時期等に該当する条件」の説明が表示されます。説明を読み、あなたが要件に該当することを確認したら「確認しました」にチェックを入れてください。

卒業・修了年月または合格年月入力欄の下に、「大学への入学時期等に該当する条件」の説明が表示されます。説明を読み、あなたが要件に該当することを確認したら「確認しました」にチェックを入れてください。

卒業・修了年月または合格年月入力欄の下に、「大学への入学時期等に該当する条件」の説明が表示されます。説明を読み、あなたが要件に該当することを確認したら「確認しました」にチェックを入れてください。

③ ②-奨学金申込情報で入力した要件に、日本学生支援機構の給付奨学金と奨学金を受けている、あるいはがある場合は、設問にて「はい」にチェックしてください。

④ ②-奨学金申込情報で入力した要件に、日本学生支援機構の奨学金とない場合は、設問にて「いいえ」にチェックしてください。

奨学生番号が複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を入力してください。入力を取り消す場合は「削除」ボタンを押してください。

③④はい

同一の学校区分(大学・短期大学・高等専門学校・専修学校等)で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。

給付 第一種 第二種

③ 過去に日本学生支援機構の「給付奨学金」を受けたことがある人は「はい」にチェックし「③④はい」の点線枠内に奨学生番号を記入してください
※過去に受けていて廃止になっている場合も「はい」

受けたことがない人は「いいえ」にチェックしてください

給付 第一種 第二種

④ 過去に日本学生支援機構の「貸与奨学金」を受けたことがある人は「はい」にチェックし「③④はい」の点線枠内に奨学生番号を記入してください
※過去に受けていて廃止になっている場合も「はい」

受けたことがない人は「いいえ」にチェックしてください

9ページ目-1

※内容をよく確認し、保証制度と詳細を確定してから記入してください
提出期限までに決めることができない場合は、秋期募集に申込みことはできません
春期募集以降に改めてお申し込みください



給付奨学金のみを希望する人は⑦-保証制度の入力は必要ありません。

STEP5

⑦-保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。

機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

給付奨学金のみ希望する人は、
⑦-保証制度の入力の必要はありません。

保証制度については、「貸与奨学金案内冊子P22～26」や「秋期募集新規申込説明会動画」を必ず確認したうえで決定後、記入してください。
また、要提出書類の「保証制度の確認」も記入し、提出してください



併願又は併用で申し込み（②-奨学金申込情報で次の選択肢を選択した場合）、

(2) 第1希望：第一種奨学金 第2希望：第二種奨学金

(4) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）

(5) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金

(6) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金

第3希望：第二種奨学金

(7) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第二種奨学金

かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合

1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

【貸与奨学金(第一種・第二種)要提出書類】



第一種 第二種

① 希望する保証制度に
チェックをしてください

第一種 第二種

①' 一種と二種の両方を希望
しており一種の返還方法が
「所得連動返還方式」を希望
する人のみ、①は記入せずに
こちらにチェックしてください

9ページ目-2

STEP6

⑧-貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報

1. あなた自身について入力してください。

- (1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。
- (2) あなたの性別を選択してください。(任意) (2) 男 女 回答したくない
- (3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。 (3) 成年判定
- (4) あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) 郵便番号(半角数字) -

住所1(自動入力)

住所2(番地以降)(全角文字)

(5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(ハイフンなし・半角数字) --

携帯電話の電話番号を記入してください。(ハイフンなし・半角数字) --

①-あなたの氏名・誓約情報で
入力した姓名が表示されます。

①-あなたの氏名・誓約情報で
入力した生年により判定されます。

・あなたのマイナンバーを申込時に提出できない場合は、**住民票住所**の入力が必要です。

・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※下記の「住所の入力例」参照

固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。

住所の入力例

(郵便番号) - ←押下

注意！
表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

- 住所1(自動入力) 東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
- 東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
- 東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所2(番地以降)

注意！

※番地以降を全て全角で入力してください(英数字やハイフン、スペースを含む)。入力漏れがあると次の画面に進めません。

※番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「.(ピリオド)」を入力してください。

※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。

上記例の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に誤って「1丁目99-9…」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目99-9…」となります。

※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡のとれる国内の住所等を入力してください。

①

給付 第一種 第二種

① 申込をする本人について
すべて記入してください

※1人暮らし等をしている方は、住民票の住所に限らず、下宿先の住所を記入してください

※ただし、マイナンバーを提出できない方に限り、住民票の住所を入力してください

10ページ目-1 (機関保証希望者のみ)

重要!

※採用後、機関保証から人的保証へ変更することはできません



⑦-保証制度で「機関保証」を選択した人



①

2. 本人以外の連絡先について

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

姓 名

(1) 漢字 (全角5文字以内)

カナ (全角15文字以内)

(2) その生年月日

(2) 年 月 日生

(3) あなたとの続柄

(3)

(4) その住所

(4) 郵便番号 (半角数字)

住所検索

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(ハイフンなし・半角数字)

その携帯電話の電話番号

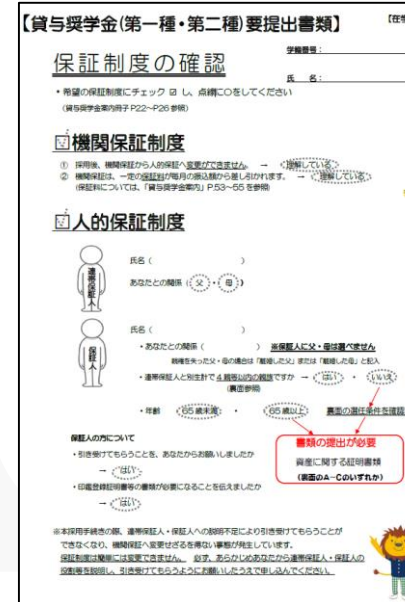
(ハイフンなし・半角数字)

第一種

第二種

① 「本人以外の連絡先 (父または母)」について、枠内をすべて記入してください

機関保証については、「貸与奨学金案内冊子P22・23」や「秋期募集新規申込説明会動画」を必ず確認したうえで決定後、記入してください。また、要提出書類の「保証制度の確認」も記入し提出してください



10ページ目-2 (人的保証希望者のみ)

重要!

※人的保証から機関保証への変更は容易ではありません
 ※必ず保証人へ了承を得てから記入してください

第一種

第二種

① 「連帯保証人（父または母）」について、枠内をすべて記入してください

※下書きの記入や、この後のWeb入力の際に、誤った情報を入力してしまうと、訂正が必要になります
訂正は簡単にはできませんので、よく確認をして記入・入力してください

※期限内に訂正できない場合は、採用取消となり一括返還が必要になります

⑦一保証制度で「人的保証」を選択した人
 ↓
 ① 2. 連帯保証人と保証人について
 あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓	名
(a) 漢字 (全角5文字以内)	<input type="text"/>
カナ (全角15文字以内)	<input type="text"/>

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたとの関係 (c)

未成年後見人の場合は、その続柄

(d) その住所

- ・連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。
- ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) 郵便番号 (半角数字) -

住所1 (自動入力)

住所2 (番地以降) (全角文字)

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(ハイフンなし・半角数字) --

その携帯電話の電話番号 (ハイフンなし・半角数字) --

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (ハイフンなし・半角数字) --

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職



人的保証については、「貸与奨学金案内冊子P24~26」や「秋期募集新規申込説明会動画」を必ず確認したうえで決定後、記入してください。
 また、要提出書類の「保証制度の確認」も記入し提出してください

【貸与奨学金(第一種・第二種)要提出書類】 (様式)

保証制度の確認

機関保証制度

人的保証制度

書類の提出が必要
 貸与に関する証明書類
 (借入-A-Coverあり)



11ページ目-1 (人的保証希望者のみ)

重要!

**※人的保証から機関保証への変更は容易ではありません
※必ず保証人へ了承を得てから記入してください**

第一種 第二種

① 「保証人」について、
枠内すべて記入してください
父または母は選べません
同じ生計の兄弟も選べません

※下書きの記入や、この後のWeb入力の際に、誤った情報を入力してしまうと、訂正が必要になります
訂正は簡単にはできませんので、よく確認をして記入・入力してください

※期限内に訂正できない場合は、採用取消となり一括返還が必要になります

①-保証制度で「人的保証」を選択した人(続き)

② 保証人について入力してください。

- ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字(全角5文字以内)	姓	名
カナ(全角15文字以内)		

(b) その生年月日 (b) 年 月 日生

(c) あなたの続柄 (c)

(d) その住所

- ・保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。
- ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) 郵便番号(半角数字) 住所検索

住所1(自動入力)
住所2(番地以降)(全角文字)

(e) その電話番号

- ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(ハイツなし・半角数字)

その携帯電話の電話番号 (ハイツなし・半角数字)

(f) その勤務先 (f) (全角文字)

勤務先電話番号 (ハイツなし・半角数字)

- ※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。 (g) はい いいえ

※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日(①-あなたの氏名・誓約情報で入力した年月日)時点で年齢を元に判定を行います。

あなたからみた続柄です。
(例) おじ、おば

※以下の場合、「その他(知人等)」と記入(選択)してください。

- ・離婚により親権を失った父母
- ・養子縁組により親権を失った本人の実父母・配偶者の父母
- (父(母)や「その他(4親等以内)」を選択しないでください)

郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※②ページの「住所の入力例」参照

- ・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。

無職の場合は「その勤務先」には何も入力せず、ここにチェックを入力してください。

連帯保証人・保証人について

①-保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ(合計2人)入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。

保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「検索の抗弁権」及び「催告の抗弁権」があります(連帯保証人には適用されません)。

詳しくは、「貸与奨学金案内」を参照してください。

また、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、⑩~⑪ページの(1)、(2)を記入してください。

もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらためて条件に合致する別の人を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、①-保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類(返還誓約書)には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印(実印)し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。

人的保証については、「貸与奨学金案内冊子P24~26」や「秋期募集新規申込説明会動画」を必ず確認したうえで決定後、記入してください。また、要提出書類の「保証制度の確認」も記入し提出してください



【貸与奨学金(第一種・第二種)要提出書類】

保証制度の確認

① 印押後、機構から人的保証人選任のご案内を参照してください。

② 機構保証は、一定の保証期間(保証期間)が定められています。この期間については、「貸与奨学金案内」P24~25を参照。

③ 人的保証制度

- ・住所、続柄等から人的保証人選任のご案内を参照してください。
- ・連帯保証人と別生計で生活していることが確認できるかを「はい」「いいえ」で選択してください。
- ・住所、続柄等から人的保証人選任のご案内を参照してください。

書類の提出が必要
貸与に関する証明書類
(借書・CoV等あり)

※本申請書提出後、連帯保証人・保証人の選任可否によりお返事させていただきますことをご了承ください。機構から選任される場合、保証人選任となります。保証人選任には保証人選任のご案内を参照してください。必ず、あらかじめあなたが公認連帯保証人・保証人の資格を保持し、同意書に署名捺印し、提出する必要があります。



11ページ目-2

STEP7

⑨-あなたの家族情報

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。

① はい いいえ

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

児童養護施設入所者等 児童自立支援施設入所者等
 児童心理治療施設入所者等 自立援助ホーム入所者等
 里親に養育されている（いた）人 ファミリーホームで養育されている（いた）人

2. あなたの家族の人数

(1) 家族全員（あなたを含む）の人数を選択してください。

② (1) 人

18歳時点であてはまり「はい」を選択する人は、施設に入所していた、又は里親による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。
 (証明書類の例)
 施設等在籍証明書（施設長発行）、児童（里親）委託証明書（児童相談所発行）、措置解除決定通知書（児童相談所発行）等
 ※機構の所定様式「施設等在籍・退所証明書」でも可。

ポイント

申込者と生計が同一（同じ収入で生活している）である全員の人数です（同居別居を問いません）。収入があり別生計の兄弟姉妹や祖父母は含みません。また、「⑨-あなたの家族情報」の1.で「はい」を選択した場合は自動的に1名と表示されます。

給付 第一種 第二種

① 申込をする本人が「社会的養護を必要とする人」であれば「はい」にチェックし下の点線枠内で当てはまるものにチェックしてください

申込をする本人が「社会的養護を必要としない人」であれば「いいえ」にチェックしてください

給付 第一種 第二種

② 申込をする本人を含む、家族全員の人数を記入してください



12ページ目

①

給付奨学金制度

申込手順等

②

スカラネット入力下書き用紙

給付 第一種 第二種

① 生計維持者①（父または母）について、枠内をすべて記入してください

第一種 第二種

② 一種か二種を希望する人のみ生計維持者①についてすべて記入してください

※要注意※
 注釈にもある通り、
「2021年」はすべて「2022年」に
「2022年」はすべて「2023年」に
 読み替えて確認後、記入してください

生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要で
 ず（離婚等により完全に別生計の人を除く）。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 (1) 人

(2) 生計維持者①（父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）

(a) あなたの続柄 (a) 父 母 その他

(b) 生計維持者①の氏名 (b) 漢字 (全角5文字以内) 姓 名
 カナ (全角15文字以内)

(c) 生計維持者①の住所 (c) 郵便番号 (半角数字) 住所検索
 住所 1 (自動入力)
 住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) 生計維持者①の生年月日 (d) 年 月 日生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。
 (注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
 (注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。
 提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

準備できている
 これから準備する
 その他

(f) 所得（申込時点の状況）について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。
 ※金額は万円単位で入力してください。（例：1,000,000円⇒100万円）

1. 給与所得
 2. 商店・農業工業、個人経営
 3. 失業手当 年額 万円
 4. 生活保護費
 ※生活保護費はマイナンバーより情報収集しますので金額の入力は不要です。該当する場合は☑のみを入力してください。

5. 傷病手当金 年額 万円
 6. 年金 年額 万円
 7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当 年額 万円
 8. 祖父母等からの援助や養育費等 年額 万円
 9. その他 年額 万円
 10. 2021年1月1日以前から無職

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

「1.給与所得」または「2.商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを選択してください。

就職・転職・退職・開業・廃業後の年取（見込み）はいくらですか。
 ○2021年1月1日以前に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。
 ※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。

○2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。
 (給与明細、帳簿、年収見込証明書、離職票等の学校への提出が必要です)。

・給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円
 ・給与所得以外（商店・農業工業、個人経営） 所得金額合計 年額 万円

※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合はこちらに年額（見込み）を入力してください。
 ※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円と入力してください。
 ※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年額（見込み）を入力してください（マイナンバー提出不可に係る所在の手続きが必要です）。
 ※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額（見込み）を入力してください。

※生計維持者については、必ず「給付奨学金案内」12ページを確認してください。

生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母（父母といる場合2人と）としています。異収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力漏れがないか確認してください。

生計維持者は最大2人です。

生計維持者①の入力は必須です。ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。

離婚後に父母が再婚（事実婚含む）している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に関わらず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「貸与奨学金案内」を確認し、該当するものを選択してください（年額の入力は1万円未満切り捨て）。

設問 (1) は、給付奨学金のみ希望する人には表示されません。

「1」 と 「2」 の欄の年額は、自治体等からマイナンバーにより収入情報を取得するため、表示されません。
 ただし、貸与奨学金を希望する人で生計維持者の勤務先が2021年1月2日以降に変更している場合、勤務先変更後の収入を入力する必要がありますので、下の設問(10)の下の「O」の2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業」を必ず選択してください。
 ※二次採用（秋）で申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

「7」に年額を入力する場合、☑ページ(3)の生計維持者②にも同じ収入を入力しないように注意してください（二重計上されてしまいます）。

「10」にチェックを入れることができるのは、2021年1月1日以前から無職かつ申込日時時点で「3」～「9」全てに該当しない場合のみです。他に収入が存在する場合は、該当の箇所をチェックを入れ、「10」にはチェックを入れないでください。「11」～「9」のいずれかか「10」の両方にチェックを入れると先に進めません）。

また、2021年1月2日以降に退職・廃業している場合は、「10」にチェックを入れず下の「11」又は「12」を選択し、年額を入力してください（複数の勤務先・事業形態のうち、1つでも退職・廃業している場合も同じです）。
 ※二次採用（秋）で申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

生計維持者の勤務先が、2021年1月1日以前から変更がない場合は上のボタンを選択し、2021年1月2日以降に変更している場合は下のボタンを選択してください。

※二次採用（秋）で申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

生計維持者が海外勤務のためマイナンバーを提出できない場合の取扱いは、機構HP（生計維持者が海外に居住している場合）を参照してください。

海外勤務等により2022年1月1日時点で日本国内に住民票（住民登録）がない場合が該当します（二次採用（秋）で申し込む場合は、2023年1月1日に住民票（住民登録）がない場合となります）。

第一種 第二種

一種か二種を希望する方のみ
 配布資料の「収入状況の確認」も併せてご確認いただき、必要事項を記入、添付書類が必要な方は証明書類と共に提出してください

【貸与のみ（第一種・第二種）要提出書類】
収入状況の確認

生計維持者（養育費・給）の収入状況を確認する書類。提出されたマイナンバーにより取得しやすくなります。情報提供が得意な場合などにより、収入状況に関する情報提供の仕方が異なります。
 ※貸与奨学金案内P.34～35、P.37（注）を参照し、当てはまる必要書類を提出してください。

収入状況確認書

【収入状況確認】（マイナンバーで情報取得できる収入）

収入の種類	必要書類の種類	収入の種類	年額	年数
1 給与所得	A	給与所得	円	円
2 商店・農業工業、個人経営	B	所得金額合計	円	円
3 失業手当	C	失業手当	円	円
4 生活保護費	D	生活保護費	円	円
5 傷病手当金	E	傷病手当金	円	円
6 年金	F	年金	円	円
7 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当	G	児童手当等	円	円
8 祖父母等からの援助や養育費等	H	祖父母等からの援助や養育費等	円	円
9 その他	I	その他	円	円
10 2021年1月1日以前から無職	J	2021年1月1日以前から無職	円	円
11 2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業	K	2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業	円	円
12 2022年1月1日以前から無職	L	2022年1月1日以前から無職	円	円

※A～Lに当てはまらない場合は、証明書類の必要書類を提出し、この欄の収入金額は0円とします。



13ページ目

給付 第一種 第二種

① 生計維持者①（父または母）について、枠内をすべてチェックしてください

給付 第一種 第二種

② 生計維持者②に生計維持者①で記入しなかった父または母について、枠内をすべて記入してください

※無収入であっても記入は必要です

※ひとり親の場合は、記入は不要です

① (g) 生計維持者①は2022年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。 はい いいえ

(h) 生計維持者①は2022年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。 はい いいえ

② (a) あなたの続柄 (a)

(b) 生計維持者②の氏名 姓 名

(b) 漢字 (全角5文字以内)

カナ (全角15文字以内)

(c) 生計維持者②の住所 (c) 郵便番号 (半角数字) 住所検索

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) 生計維持者②の生年月日 (d) 年 月 日 生

(e) 生計維持者②のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。

(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。

提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

準備できている

これから準備する

その他

(f) 所得(申込時点の状況)について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。

※金額は万円単位で入力してください。(例: 1,000,000円⇒100万円)

1. 給与所得

2. 商店・農業工業、個人経営

3. 失業手当 年額 万円

4. 生活保護費

※生活保護費はマイナンバーより情報収集しますので金額の入力は不要です。該当する場合は☑のみを入力してください。

5. 傷病手当金 年額 万円

6. 年金 年額 万円

7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当 年額 万円

8. 祖父母等からの援助や養育費等 年額 万円

9. その他 年額 万円

10. 2021年1月1日以前から無職

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

「1. 給与所得」または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを選択してください。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。

○2021年1月1日以前から同じ勤務先(同じ業務形態で事業経営)

※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。

○2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業

就職・転職・退職・開業・廃業後の年収(見込み)はいくらですか。

(給与明細・帳簿・年収見込証明書、就職票等の学校への提出が必要です。)

・給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円

・給与所得以外(商店・農業工業、個人経営) 所得金額合計 年額 万円

※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合はこちらに年額(見込み)を入力してください。

※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円と入力してください。

※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年額(見込み)を入力してください(マイナンバー提出不可に係る所定の手続きが必要です)。

※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額(見込み)を入力してください。

(g) 生計維持者②は2022年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。 はい いいえ

(h) 生計維持者②は2022年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。 はい いいえ

二次採用(秋)で申し込む場合は、2022年を2023年に読み替えてください。

父母のうち☑ページ(2)生計維持者①に入力した人ではない人を、必ず入力してください。定期採用の申込者は、ここで入力した人についてマイナンバーを提出する必要があります。

※一人親の場合は(3)の入力は不要です。※父母ともいない場合で代わって生計を維持している人がいるときは、主に生計を維持している人を☑ページ(2)に入力してください。(3)の入力は不要です。

離婚後に父母が再婚(事実婚含む)している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に関わらず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

「貸与奨学金内」を確認し、該当するものを全て選択してください(年額の入力は1万円未満の切捨て)。

説明(1)は、給付奨学金のみ希望する人には表示されません。

「1」と「2」の欄の年額欄は、自治体等からマイナンバーにより収入情報を取得するため、表示されません。ただし、貸与奨学金を希望する人で生計維持者の勤務先が2021年1月2日以降に変更している場合、勤務先変更後の収入を入力する必要がありますので、下の説明(10)の下の「○2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業」を必ず選択してください。

※二次採用(秋)で申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

「7」に年額を入力する場合、☑ページ(2)の生計維持者①にも同じ収入を入力しないように注意してください(二重計上されてしまいます)。

「10」にチェックを入れることができるのは、2021年1月1日以前から無職かつ申込日時点で「3」～「9」全てに該当しない場合のみです。他に収入が存在する場合は、該当の箇所をチェックを入れ、「10」にはチェックを入れないでください。「11」～「9」のいずれかと「3」チェックを入れると先に進め

③ 1月2日以降に退職・廃業して「10」にチェックを入れた下の「○」を選択したうえで下の「○」を2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業」を選択し、年額を入力してください(複数の勤務先・事業形態のうち、1つでも退職・廃業している場合も同じです)。

※二次採用(秋)で申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

生計維持者の勤務先が、2021年1月1日以前から変更がない場合は上のボタンを選択、2021年1月2日以降に変更している場合は下のボタンを選択してください。

※二次採用(秋)で申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

生計維持者が海外勤務のためマイナンバーを提出できない場合の取扱いには、機構HP「生計維持者が海外に居住している場合」を参照してください。

④ 2022年1月1日時点で日本(住民登録)がない場合は、機構HP「生計維持者が海外に居住している場合」を参照してください。

二次採用(秋)で申し込む場合は、2022年を2023年に読み替えてください。

※要注意※

注釈にもある通り、**「2021年」はすべて「2022年」に**
「2022年」はすべて「2023年」に
読み替えて確認後、記入してください

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

第一種 第二種

③ 一種・二種を希望する人のみ生計維持者②についてすべて記入してください

給付 第一種 第二種

④ 生計維持者②（父または母）について、枠内をすべてチェックしてください

14ページ目

給付

① 通常「はい」をチェックしてください
 ※「いいえ」をチェックした場合、採用されません

給付

② 申し込みをする本人と生計維持者それぞれの資産額を記入してください
 ※資産：現金及び預貯金等（不動産は対象外）

給付奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

採用後の手続き

4. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の合計額は2,000万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）ですか。
 ※対象となる資産の範囲：現金及びこれに準ずるもの（有価証券の合計額（**①**）ははい ○いいえ）
 不動産は対象としない。

5. あなたと生計維持者（原則父母）の資産の額をそれぞれ入力してください。（1万円未満切り捨て）（半角数字）

あなた	_____万円
生計維持者①	_____万円
生計維持者②	_____万円
合計	_____万円

◆一人親家庭

6. 父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている理由について、次のうち該当するものを選択してください。

- 父又は母と死別した。
- 父母の離婚等により、父母いずれか（本人）は別生計である。
※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は未婚の場合なども含まれます。
- 父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。
- その他 _____

◆父母以外

7. 生計維持者に父母以外の人を入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。（複数選択可）

- 両親（父母）と死別した。
- 両親（父母）が生死不明、意識不明、精神疾患等のため、意思疎通ができない。
- わたし（本人）は結婚しており、両親ではなく、生計維持者欄に記載した配偶者に扶養されている（納税手続きにおいて、わたしの夫（妻）の扶養に入っている。）
- その他 _____

◆＜共通＞一人親家庭・父母以外

必要に応じて、上記の事実関係を確認できる証明書類の提出を後日求める場合があります。上記の申告に間違いありませんか。

はい
 いいえ

事象	証明書類(例)
父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている場合【共通】	・課税証明書（寡婦（夫）控除の適用が分かるもの） ・児童扶養手当証書、受給証明書等
上記の書類を提出できない場合	
父母と死別	・戸籍謄本、抄本 ・住民票（死亡日記載あり）
父母が離婚	・戸籍謄本、抄本
父母が離婚調停中	・裁判所による係属証明書 ・弁護士による報告書
父又は母がDV被害	・自治体等による「配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」
父又は母が生死不明（行方不明）	・自治体や警察等による「行方不明者届受理証明」
父又は母が意識不明、精神疾患	・主治医による「診断書」
学生本人が両親ではなく配偶者に扶養されている	・戸籍謄本、抄本及び ・課税証明書（配偶者控除の適用が分かるもの）
その他の事由	・事実関係を確認できる書類（第三者（機関）の所見等）

◆申込者本人

8. 生計維持者はあなた自身（独立生計者）と入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。

- 両親（父母）と死別し、祖父母や叔父・叔母等の親族から経済的支援を受けていない。
- 父母・祖父母ともに死別し、兄弟姉妹は就学中もしくは病気などの理由で働くことができない。
- わたし（本人）は結婚しており、配偶者等を扶養している。
- その他 _____

申告いただいた内容について、後日確認させていただく場合があります。上記の申告に間違いありませんか。

はい
 いいえ

「いいえ」を選択した場合は家計基準を満たしていないため採用されません。なお、資産に関する証明書類の提出は不要です。

生計維持者①の続柄が「申込者本人」である場合は、当該欄の生計維持者①及び②は非活性となります。

①～あなたの家族情報の3にて、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合にのみ表示されます。
 「離婚等」については、単なる不仲による別居は認められません。また、「その他」に入力するだけ具体的に入力してください

①～あなたの家族情報の3にて、父母以外の人を生計維持者としている場合にのみ表示されます。
 父母以外の人を生計維持者にした理由として、父母以外の人であることは認められません。

④ 腕が2つ以上あれば全て選択し
「生計維持者が父母以外（1名）」となるケースは以下のような場合です。
 ・両親（父母）と死別し、おじ夫婦と生活している
 ※おじ夫婦のうち、あなたの生計を主に維持している方（1名）が「生計維持者」になります。
 ・おじ夫婦と生活しているが生死不明のため、未成年後と生活している。

④ 腕が2つ以上あれば全て選択し
「生計維持者が父母以外（1名）」となるケースは以下のような場合です。
 ・両親（父母）と死別し、おじ夫婦と生活している
 ※おじ夫婦のうち、あなたの生計を主に維持している方（1名）が「生計維持者」になります。
 ・おじ夫婦と生活しているが生死不明のため、未成年後と生活している。

⑤ 腕が2つ以上あれば全て選択し
「生計維持者が父母以外（1名）」となるケースは以下のような場合です。
 ・両親（父母）と死別し、おじ夫婦と生活している
 ※おじ夫婦のうち、あなたの生計を主に維持している方（1名）が「生計維持者」になります。
 ・おじ夫婦と生活しているが生死不明のため、未成年後と生活している。

⑤ 腕が2つ以上あれば全て選択し
「生計維持者が父母以外（1名）」となるケースは以下のような場合です。
 ・両親（父母）と死別し、おじ夫婦と生活している
 ※おじ夫婦のうち、あなたの生計を主に維持している方（1名）が「生計維持者」になります。
 ・おじ夫婦と生活しているが生死不明のため、未成年後と生活している。

⑥～あなたの家族情報の3にて、あなた自身を生計維持者（独立生計者）としている場合にのみ表示されます。
 あなた自身を生計維持者にした理由として、父母と不仲であることは認められません。また、あなたの収入及び奨学金等だけで生活しているという状況であったとしても、父母が原則父母が生計維持者となります。

JASSO 生計維持者について [検索](#)

給付

③ ひとり親の方のみ、チェックし⑤にもチェックしてください

給付

④ 父母が生計維持者ではない方のみチェックし、⑤にもチェックしてください
 ※該当例：父母と死別し、親戚と生活している等

給付

⑥ 申し込みをする本人が生計維持者の場合のみ、チェックしてください
 ※該当例：本人が結婚しており両親と別生計

15ページ目

第一種 第二種

① 一種と二種を希望する人のみ
家族のうち、就学者と就学前の
兄弟の人数（本人含む）と、
名前等をすべて記入してください
（本人含まない）

※就学者：小・中・高・大・専門学校 等

第一種 第二種

② 父・母・①で記入した人**以外**の
家族がいる場合は記入してください

※例：同居している祖父母 等

給付 第一種 第二種

④ 奨学金を希望する理由等を、
少なくとも、100文字以上
記入してください

9. 家族のうち学校に在学している人に関して記入してください。

(1) 家族のうち就学者（あなたを含む）と就学前の弟妹の人数を合せて記入してください。

(2) あなたの他に学校に在学している人及び小学校入学前の弟妹がいる場合は、全員記入してください。

(1) 人

続柄	姓	名	学校段階	在学している学校	通学別
▼					
▼					
▼					
▼					
▼					

10. その他の家族（「生計維持者・就学者・小学校入学前の弟妹」以外の家族）を記入してください。（あなたを除く）

続柄	姓	名	年齢
▼			
▼			
▼			
▼			

STEP2
①-特記情報

1. あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。 1. 万円

2. あなたの家庭は母子または父子家庭ですか。 2. はい いいえ

3. 家族の中に障害のある人（常に就労を要する介護が必要な人等を含む）がいますか。 3. はい いいえ

「はい」と答えた人は、その人数を記入してください。 人

4. 主に生計を維持する人が単身赴任等で別居していますか。 4. はい いいえ

「はい」と答えた人は、別居による住居・光熱・水道・家具・家事用品の年間の実費を記入してください。 万円

5. あなたの家族に6か月以上にわたり療養中の人または療養を必要とする人がいますか。 5. はい いいえ

「はい」と答えた人は、療養のために必要な1年間の支出金額を記入してください。 万円

6. この1年間に火災・風水害又は盗難などの被害を受けたことがありますか。 6. はい いいえ

「はい」と答えた人は、支出の増加または収入の減少があるかを選択してください。 支出の増加 万円
収入の減少 万円

「はい」と答えた人で、長期（2年以上）にわたって支出の増加又は収入の減少がある場合、その1年分の金額を記入してください。

7. 災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢に含まれている場合は該当のものを選択してください。

②-家庭事情情報

奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください（全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください）。

注1) 主に生計を維持する人が無職（失職）の場合には、その無職（失職）となった年月、理由、現在の生活費の出所等を具体的に記入してください。

注2) 第二種奨学金の最高月額を必要とする理由を具体的に記入してください（学校担当者から確認等を行う場合があります）。

(20×10)

第一種 第二種

- ③ 一種と二種を希望する人のみ、すべて記入してください
- 【注意事項】
1. 授業料
 - 【国際学部・経済学部・経営学部】 → 79万円
 - 【スポーツ健康科学部】 → 90万円
 - 【工学部・デザイン工学部】 → 106万円
 3. 家族の中に障害のある人がいる場合、
身体障害者手帳等のコピーの提出が必要
 4. 生計維持者が単身赴任等で別居している場合、
上限は71万円まで
単身赴任先の住居費や光熱費等の領収書のコピーの提出が必要
 5. 家族の中に6か月以上にわたり療養中・療養が必要な人がいる場合、
医療費等の領収書のコピーの提出が必要
 6. この1年間で火災・風水被害または盗難などの被害を受けた場合、
被害を受けた証明書類と、
収入減少等が確認できる書類のコピーの提出が必要

16ページ目

給付 第一種 第二種

**② 振込を希望する金融機関を
チェックし、
チェックした金融機関の
口座情報を記入してください**

※該当口座の通帳のコピーの
提出が必要です



通帳



提出
通帳の
コピー

給付奨学金制度

②

申込書

採用後の手続き

注意！口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。
入力しようとしている口座が奨学金を受け取れる口座かどうか、次のチェックリストを使って確認してください。

- あなた本人の預・貯金口座です。
- 銀行等の普通預金口座、または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座です。
- 誓約欄のカナ氏名と通帳の口座名義人（カナ）は完全に同一です。
- 金融機関名・支店名・口座番号（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号・番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいです。（※）
- この通帳は1年以内に記帳できました（休帳口座ではありません）。
- 農協、信託銀行、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等の口座ではありません。

※ 3か月以内に新設された支店は選択できない場合があります。

STEP9 ①-奨学金振込口座情報

1. 公金受取口座の利用を希望しますか。 1. 希望します 希望しません

公金受取口座とは

2. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 2. 銀行等 ゆうちょ銀行

説明1で「（公金受取口座の利用を）希望します」を選択した場合、奨学金の振込先は原則としてあなたが国（デジタル庁）に事前登録した公金受取口座となります。ただし、あなたの公金受取口座情報を機嫌が利用できない場合に備えて、奨学金の振込先となる口座情報を入力する必要があります。なお、公金受取口座と同じ口座情報を入力してはいけません。

【銀行等を選択した場合】
金融機関名および支店名を選択してください。

(1) 金融機関名の読み先頭1文字を選択してください。 (1)

1 (2) 金融機関名を選択してください。 (2)

(3) 支店名の読み先頭1文字を選択してください。 (3)

2 (4) 支店名を選択してください。 (4)

3. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

3. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。 確認用

4. 口座名義人を入力してください。（口座名義人は本人に限ります） **4**

4. 口座名義人（全角カナ）
姓 名

【ゆうちょ銀行を選択した場合】
3. 貯金通帳等で確認後、口座の記号・番号を入力してください。

3. 記号・番号

1 2

確認のため、再度口座の記号・番号を入力してください。

確認用 - 番号

4. 口座名義人を入力してください。 **3**

4. 口座名義人（全角カナ）
姓 名

① の時点で公金受取口座あるのみ、「希望します」にチェックしてください。

振込に利用できない口座（給付奨学金案内16ページ参照）の場合は、「希望しません」を選択してください。

注意事項を記載していますので、公金受取口座の利用を希望する場合はこのボタンを押して必ず確認してください。

番号が7桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。

口座名義人は、①-あなたの氏名・誓約欄で入力したあなた本人のカナ氏名と完全に同一である必要があります。
※姓と名でそれぞれ15文字まで入力できます。
※姓が15文字以上ある人は、15文字まで姓に入力し、16文字以降は名に入力してください。
※ミドルネームがある人は、名の欄に「ミドルネーム」と「名前」をスペースなしで入力してください。

【記号】と【番号】の間に数字がある場合は、その数字は入力しないでください。
※番号が8桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。

【通帳の口座名義人・口座情報が記載されているページのコピーをこの行貼り付け】

給付 第一種 第二種

① 通常「希望しません」をチェックしてください

「公金受取口座」を希望する場合は「希望します」にチェックしてください

通帳のコピーは
貼り付けしないでください！



4 普通預金 銀行等

キョウカ知ロ

株式会社××銀行

口座店 ××支店

TEL ×××(××)××××

この口座を他金融機関からの振込みの受取口座として利用される際は、次の内容を記載してください。
【記号】×××(××)××××××××
【支店】198【預金種目】普通預金【口座番号】0123456

1 **2** **3** ゆうちょ銀行

1××××0 ×××××××1

キョウカ知ロ

株式会社ゆうちょ銀行
(金融機関コード19800)

この番号では振込みできません

入力後、「次へ」ボタンを押すと、STEP10 ①-奨学金振込口座情報確認に進みます。口座情報に誤りがないか確認してから、「次へ」ボタンを押してください。以降は「給付奨学金案内」22ページを見ながら、画面の指示に従って進めてください。

おわり

※申請に必要な書類はスカラネット入力下書き用紙だけではありません！！
その他必要書類もそろえて期日までに提出してください

期日は不備訂正も含めた期限です
締切日に、はじめて提出することがないように気を付けてください

